



<本年度会長方針>

WEEKLY REPORT
No.1265

新たなる一步を

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日 12:30 例会場 名古屋東急ホテル
会長 高木政義 事務局 名古屋市中区栄4丁目6番5号 丸越ビル6F
幹事 大原敏正 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008
URL <http://www.nagoya-osu.org> E-mail office@nagoya-osu.org



第1483回例会

新世代のための月間

平成26年9月4日(木)

地区補助金協力団体講話

於 名古屋東急ホテル

出席計算数 50名中42名出席

出席率 84.00%

前々回出席率 87.23%

役員 59名

春井和良 照井 葉 渡辺 観永

例会プログラム

★松本社会奉仕委員 報告

★10月2日例会変更案内

★バナー披露

★誕生日お祝い

ロータリーソング

「君が代」「四つのテスト」

指揮者 前田 隆久

ピアノ伴奏 富坂 玲子

ゲスト

社会福祉法人日本介助犬協会

センター長補佐 太田 剛仁さん

同 広報部 副主任 古屋 道子さん

同 広報部 職員 歩美さん

同 広報部 職員 レニイ

(介助犬PRR犬)

ニコソックス

日本介助犬協会のみなさまようこ

そー!

尾上 昇・横井 衛

シンシアの丘の皆さんとフンちゃん

さん、今日はようこそいらっしゃいました。

大原 敏正

誕生日です。 草野 勝彦

浅野 彰・大澤 伸悟

妻の誕生日です。 丹下 富博

田崎さんお世話になりました。あ

りがどうも良かったです。

春井和良

草野先生ありがとうございました。

台湾メイキャップしてきました。

渡辺 観永

簿記に全く

関係しない人

は多いかもしれ

ませんが、

簿記は現在の

社会に不可欠のもの一つでし

ょう。簿記は帳簿記入の略語です。

記帳は紀元前から行われていたこ

いわれます。特に現金収支につい

ての記帳の歴史は古いです。

簿記は「単式簿記」と「複式簿

記」に分けられますが、話の対象

は「複式簿記」です。身近な家計

簿は単式簿記です。

ところでこの「複式簿記」の

原形はいつごろ出来たのか。一般

的には12〜13世紀にイタリアで

その基礎ができたといわれています。

経済繁栄したイタリアといわ

れることなく納得できます。

1494年イタリアのベニスで

出版された書籍に銀行家を使用し

ていた簿記方法についての説明が

あります。興味深いのはその記帳

技術がそのまま続いていること

です。簿記は経済活動を記録し計算

することを目的にしています。今

日の経済活動は多種多様な複雑な



「介助犬について」

社会福祉法人日本介助犬協会

センター長補佐 太田 剛仁さん

卓話

リアの実業家が記帳していたもの

がその後拡大した経済規模に関係

なく今も使われています。

1. 預金の増加

それが銀行からの借入であれば

資産(預金)と負債(借入金)に記帳

されます。会社がスタートするこ

きは資本です。

2. 現金の減少

事務用品を購入したのであれば

費用(事務用品消耗品費)と資産(現金)

3. 倉庫の製器が得意先へ

出荷された

販売が実現したので債権(売掛金

など)と収益(売上)に記帳。この

取引の場合資産である棚卸資産が

減少しますので費用(売上原価)と

資産(棚卸資産)にも記帳します。

このように取引がダブルで記帳

され二つ金額の合計が常に一致し

ているのが「複式」です。昔イタ



「介助犬について」

社会福祉法人日本介助犬協会

センター長補佐 太田 剛仁さん

卓話

リアの実業家が記帳していたもの

がその後拡大した経済規模に関係

なく今も使われています。

実は、介助犬って、とても幸せ

な犬なんです。愛情をもって犬と

接し、犬との信頼関係を基にト

レーニングを行います。個々の犬が

生まれ持った得意なこと・好きな

ことを見極め、人と一緒に行動す

ることが喜びと感じられるだけ

を、介助犬として育成します。介

助犬を持つ人だけでなく、介助す

る犬も共に幸せであるように。

私たちは常につづ願っています。

介助犬とは、肢体不自由者(病

気や事故などで手や足に障がい

を持った方)の日常生活動作を助け、

障がい者の自立と社会参加促進の

ために特別なトレーニングを受け

た犬のことで、身体障害者補助犬

法のもと厚生労働大臣指定法人か



ら認定を受けた犬のことをいい、障がいのある方の暮らしや心を支える大切なパートナーとなります。

介助犬使用者に付き添い、物をもってくる、ドアを開ける等、障がいの度合いや環境に応じた様々な仕事をします。また、介助犬使用者が転倒して起き上がれない時に、電話を取って来る、人を呼びに行く等、緊急時の連絡を手助けするのにも介助犬の大きな役割です。

日本の肢体不自由者の数は、およそ175万人。そのうち、介助犬を必要としている人は約15,000人いるといわれています。介助犬の頭数はまだまだ不足しており、介助犬の育成・普及が強く求められています。

平成14年10月1日に施行された身体障害者補助犬法によって、これまで認められていなかったデパート・スーパー・ホテル・飲食店などの一般の施設や公共の施設、交通機関に補助犬(介助犬・盲導犬・聴導犬)であれば同伴しての立ち入りができるようになりました。しかしながら、この法律はま

だまだ知られておらず、レストラン、ホテル、病院などといった施設が、正当な理由がないのに受け入れを拒否するケースは少なくありません。例えば、レストランで食事をしたようにしたら、「他のお客様の迷惑になる」という理由で同伴を断られるというケースや、「動物は入店できません」と補助犬受入れ義務の法律を知らずに断られてしまうケースもあります。こういった事態を解消するために、身体障害者補助犬法の周知と介助犬の普及・啓発活動を展開しています。社会福祉法人日本介助犬協会は「人にも動物にもやさしい社会をめざして」をモットーに、より多くの障がい者の方が自立し社会参加できるように取り組んでいます。



ドアの開閉

●介助犬のお仕事

「冷蔵庫から飲物を持ってくる」「携帯電話を探す」など、お仕事の一部をアモンストレーションして頂きました。

ハナー披露

渡辺 観永



・台北華安扶輪社 / 第3520地区 台湾

・三重千禧扶輪社 / 第3490地区 台湾

派遣青少年交換生 報告

「マンズリーレポート」

青少年交換生 伊藤 彩香

こんにちは。アメリカミネソタ州ダルースにステイして二週間が

たちました。ダルースはスペリオール湖の最西端に位置するとてもきれいな港町です。気温も20度前後ととても涼しく過ごしやすいです。自然も豊かで毎日楽しく過ごしています。

ホストファミリーの方々はとても親切で、英語が聞き取れない私に對して簡単な英語でたくさん話しかけてくださったり、ゆっくりと話してくださいます。学校は9月から始まるのでホストファミリーとても楽しく充実した時間を過ごすことができました。みそ汁やお好み焼きを作ったり、1番年下のホストシスターと一緒に折り紙をしたりと日本についても少しずつですが紹介しています。

夏休み最後の週末には、湖へキャンプに連れて行ってもらいました。湖に飛び込んだり、釣りをさせていだいたり、ここでしかできない貴重な体験でも楽しかったです。特に魚を釣るのは初めてで、1匹目が釣れた時とても嬉しかったです。また野生のワシを見るのができたりと、自然を大切にしているからこそ見られる光



景だと感じました。

ホストロータリークラブの例会に1度参加し、英語で簡単な挨拶をさせていただきました。みなさんとても優しく接してくださいました。

私のホストシスターもロータリーの交換留学生で、この夏スペインに行きました。彼女が出發するまでの1週間、学校のことや町のことなどを教えてもらい、私も日本のことを紹介したりとても楽しい時間を過ごしました。また1年後会えるのが楽しみです！
9月から学校が始まるのでとても楽しみです！

9月18日(木)例会の案内

クラブフォーラム

「クラブ運営の方向について」

広報委員会

杉浦 令淑・内藤 明

*本文は、原則、頂いた原稿を転載しています。



緊急連絡手段の確保



落としたり物を拾う

靴を脱がせる



歩行介助

